

# 竹 中 治 堅 教 授

---

専門分野：比較政治、国際政治経済

学 位：Ph.D.（政治学）（スタンフォード大学）

略 歴：1993年東京大学法学部卒、大蔵省入省、98年スタンフォード大学政治学部博士課程修了（Ph.D.取得）、同年中央省庁等改革推進本部事務局、99年本学助教授、2004年本学政策情報研究センター長、図書館長（06年まで）、07年本学准教授。10年本学教授。

## 1. 業 績（A）

### （1）雑誌論文（単著）

- \* 竹中治堅「2010年参院選挙後の政治過程—参議院の影響力は予算にも及ぶのか」『選挙研究』27巻2号、45～59頁。

### （2）図 書（共著）

- \* 竹中治堅「芦田均日記」240～250頁（御厨貴編『近現代日本を史料で読む』中公新書、2011年4月）
- \* 竹中治堅「民主党代表と政策の変容」71～128頁（飯尾潤、苅部直、牧原出編『政治を生きる—歴史と現代の透視図』中央公論新社、2012年3月）
- \* 竹中治堅「20年後の日本の選挙制度のあるべき姿」133～140頁（あらたにす編『2030年の日本へ—あらたにす「新聞案内人」の提言』日本経済新聞出版社、2012年3月）

### （3）学会報告

- \* 竹中治堅「「2010年参院選と参院選後の政治過程の意義」2011年度日本選挙学会総会・研究会、於 関西学院大学、2011年5月14日。

### （4）その他

- \* 竹中治堅編「有馬龍夫 オーラル・ヒストリー」文部科学省科学研究費補助金成果報告書、2011年12月。

## 2. 業 績（B）

### 書 評

- \* 「（ニュースの本棚）ねじれ国会 衆院は参院に優越するのか」『朝日新聞』2011年6月12日。

## 3. 助成金による研究

- \* 科学研究費補助金（若手研究(B)）「戦後日本の政策決定過程における野党の影響力に関する理論的・実証的研究」

## 4. 教 育

### （1）講 義

- \* 日本政治と理論分析（2011年度春大学期）  
主に、権力構造と政策決定過程を分析するのに役立つ分析手法を紹介し、特に、戦後日本の権力構造と政策決定過程を材料として取り上げながら、分析手法の理解

を深めた。

\* **Comparative Politics** (2011 年度秋大学期)

比較政治についての様々な理論を紹介し、特に民主主義のもとで展開する政治をどのように分析できるかについて議論した。

(2) 論文指導

- \* 4 名 (Young Leaders Program、留学生、2010 年 10 月入学者 1 名、2011 年 10 月入学者 3 名)
- \* 1 名 (公共政策プログラム、副査)
- \* 1 名 (政策プロフェッショナル博士論文審査、副査)
- \* 1 名 (政策プロフェッショナルキャンディデートセミナー)

## 5. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- \* 政策研究センター運営調査会委員
- \* 政策研究センター補佐会委員
- \* 図書館運営委員会委員
- \* 情報公開検討ワーキンググループ委員
- \* Young Leaders Program Committee Member
- \* 博士課程政策プロフェッショナルプログラム・コミティー委員
- \* 公共政策プログラム・コミティー委員
- \* One-year Master's Program of Public Policy (MP1) Committee Member
- \* Two-year Master's Program of Public Policy (MP2) Committee Member

(2) その他

- \* 公共政策プログラム入試 採点 (2011 年 11 月 16 日、2012 年 2 月 15 日)
- \* 昼食セミナー「参議院と日本政治」 (2011 年 12 月 14 日)
- \* Young Leaders Program インタビュー (2012 年 2 月 16 日 パキスタン人受験者 4 名)
- \* Young Leaders Program 出願者の書類審査 (2012 年 2 月)
- \* Ph.D. Qualifying Examination (2011 年 8 月 1 日、2011 年 10 月 11 日)

## 6. 社会的貢献 (A)

(1) 他大学・研究所等における活動

非常勤講師

- \* 青山学院大学国際政治経済学部非常勤講師 講義「比較政治 II」担当 (全 13 回 2011 年度前期)
- \* 東京大学教養学部前期課程非常勤講師 講義「日本の政治」担当 (全 13 回 2011 年度前期)

(2) 学会における活動

- \* 討論者：日本政治学会 戦前戦後・比較政治史研究フォーラム／現代政治過程研究フォーラム第 14 回研究会、東京大学本郷キャンパス、2011 年 6 月 4 日。

(3) その他

- \* 『nippon.com』編集委員会委員

## 7. 社会的貢献 (B)

(1) ジャーナリズムでの発言

① 活字メディア

- \* 「菅首相の原発事故対応を質す」『あらたにす』2011年4月20日。
- \* 論説研究会講演会『共同通信』（2011年5月2日、5月3日に『新潟日報』『信濃毎日新聞』などに掲載）
- \* 寄稿：「三つの重要課題」『Opinion 3/11』2011年5月7日。
- \* インタビュー：「領空侵犯」『日本経済新聞』2011年5月9日。
- \* 寄稿：「アナウンスメントなきマニフェスト修正」『あらたにす』2011年5月18日。
- \* 寄稿：「首相退陣は7月上旬までに」『あらたにす』2011年6月13日。
- \* コメント：「『信頼の政治』作り直す」『日本経済新聞』2011年7月2日。
- \* 寄稿：「政策停滞の原因と次期民主党代表選の課題」『あらたにす』2011年7月6日。
- \* 寄稿：「民主党政治家はなぜ若年層に負担を押し付けるのか」『あらたにす』2011年8月1日。
- \* 寄稿：「民主党代表選に求めるもの」『あらたにす』2011年8月24日。
- \* 聞き書き：「民主党代表選と与野党協調」『毎日新聞』2011年8月26日。
- \* インタビュー：「野田政権に望む（上）逆転国会」『日本経済新聞』2011年8月31日。
- \* 寄稿：「野田政権に必要なこと」『あらたにす』2011年9月15日。
- \* インタビュー：「政権の枠組み」『産経新聞』2011年9月16日。
- \* 聞き書き：「新政権に注文」『読売新聞』2011年9月18日。
- \* コメント：「参議院が強すぎないか」『北海道新聞』2011年10月3日。
- \* 寄稿：「結局、増税総額はいくら？」『あらたにす』2011年10月13日。
- \* 寄稿：「国家戦略会議の設置と野田首相の悩み」『あらたにす』2011年11月4日。
- \* コメント：「ドジョウは鈍牛に学ぶ、野田首相がめざす宰相像は——大平氏に難局での気概」『日本経済新聞』2011年11月17日。
- \* 寄稿：「一票の格差是正 衆参一体で」『あらたにす』2011年12月1日。
- \* 聞き書き：「選挙を控えた攻防戦で、『停滞続く』『日経トップリーダー』2012年1月号。
- \* 寄稿：「首相は「ねじれ」の現実を直視せよ」『あらたにす』2011年12月22日。
- \* コメント：「選挙制度改革（下）参院 ねじれ状態化も」『読売新聞』2012年1月10日。
- \* 聞き書き：「信任決議で対抗を」『共同通信』2012年1月13日配信（1月14日『北海道新聞』『東奥日報』『信濃毎日新聞』などに掲載）
- \* インタビュー：「内閣改造」『読売新聞』2012年1月14日。
- \* コメント：「岡田氏が就任、副総理2つの顔——ナンバー2、重鎮」『日本経済新聞』2012年1月19日。
- \* 寄稿：「谷垣総裁は消費増税の公約を守れ」『あらたにす』2012年1月24日。

② 映像メディア（含むラジオ）

- \* 「プライムニュース」『超党派議員連盟発足へ 日本型の国づくりとは』『BS フジ』2011年6月23日20時～22時。

- \* 「民主党新代表に野田氏 挙党一致・ノーサイドの政治はできるか」 「私も一言」 NHK ラジオ第1放送 2011年8月29日 17時～17時55分。
- \* 「民主3人目の正直 - 野田名総理の条件」 『朝日ニュースター』 2011年9月4日 22時30分～23時55分。
- ③ その他 インタビュー（聞き手として）
  - \* 「斎藤健 インタビュー」 『nippon.com.』 2011年10月3日。
  - \* 「北神圭郎 インタビュー」 『nippon.com.』 2012年2月29日。
- (2) 講演会, 座談会, 会議出席
  - \* 講演：「危機の政治過程と参議院」 共同通信、2011年4月27日。
  - \* 講演：政策学生会議、2011年6月19日。
  - \* 講演：「参議院の選挙制度」 公明党政治改革本部会議、2011年8月3日。
  - \* 講演：「日本政治と参議院」 日本型国家を作る会、2011年8月23日。
  - \* 講演：「野田内閣にとっての教訓—権限を拡大する参議院」 浩志会、2011年9月12日。
  - \* 講演：「混迷の日本政治と野田内閣」 クラブ関西、2011年10月13日。
  - \* 講演：「日本政治と参議院」 参議院協会、2012年2月8日。
  - \* 司会：分科会「『ねじれ国会』にどう対応すべきか。あるべき選挙制度改革とは」 (パネリスト 風間直樹参議院議員、平将明衆議院議員、田村謙治衆議院議員、中西健治参議院議員) 第4回 G1 サミット、青森県三沢市星野リゾート青森屋、2012年2月11日。
  - \* 勉強会講師：「短命政権の研究」 経団連 21世紀研究所、2012年3月2日。